平成 22 年度　JSCA 九州支部第 1 回役員会　議事録

記録: 渡部 直人

日　時	2010 年 7 月 23 日(金) 14:30～17:00
場 所	くまもと県民交流館「パレア」9 階会議室 2 住所:熊本市手取本町 8 番 9 号　テトリアくまもとビル　TEL 096-355-4300
出席者	尾宮支部長、宮田、上瀧　両副支部長　3 名 浜田　顧問　1 名 伊藤、川崎、今林、原、浅田　各幹事　5 名 吉原、内山、森田、　各委員長･部会長　3 名 森永、江口、三根、澤村、高橋、川越、木場、花城　各地区幹事　8 名 田中、河野、大塚、中村、　各地区会事務局　4 名 九州支部事務局　山下、渡部、重松、新井　4 名 大分地区会　糸永　副代表　1 名 熊本地区会　約 8 名 計　約 37 名

1. 支部長挨拶　----------尾宮支部長

・六本松九大校舎の実大実験についての報告。

・近況報告

2. 熊本地区会幹事挨拶----------　澤村幹事

・熊本会員の 8 名の自己紹介。

・熊本地区会として、活発な活動を行っていく予定。

3. 各委員会・部会報告及び事業計画

技術委員会----------吉原技術委員長

・活動報告

・福岡適判との協議会で九州内での意思統一をお願いした。

・ＪＳＣＡ側から質問状を出して福岡適判と打ち合わせを行う予定。

・意見内容を各地区会でまとめて出していく予定

・今後の活動予定

・本部技術委員会の出席予定（10 月 11 月）

地盤系部会 ----------浅田部会長代理

・活動報告

・4 月 17 日・・・地盤系部会主催「若手研修会」開催
出席者：約１００名
JSCA 構造設計実務者研修　第Ⅱ偏テキスト「地盤調査と基礎設計」をベースに
九州の特性と演習問題を加えた内容で行った。

・6 月 11 日・・・地盤調査ハンドブックW. G. 平成 22 年度第 1 回打合せ

・7 月 30 日・・・地盤調査ハンドブックW. G. 平成 22 年度第 2 回打合せ

・今後の活動予定

・8～9 月　・・・既成コンクリート杭、及び鋼管杭　講習会開催

・10 月　・・・基礎施工の現場見学会（W. G. 内で）

・10 月以降・・・地盤調査ハンドブック　最終版リリース　及び講習会

・（時期未定）・場所打ちコンクリート杭、及び地盤改良　講習会開催

設計規準系部会----------伊藤部会長

・活動報告

・６月２６日・・・建築学会九州支部鋼構造部会、鉄鋼連盟九州地区サブネットワーク主催
「東京スカイツリーの設計と施工」講演会参加、
参加者１０３名（うちＪＳＣＡ３８名参加）

・６月３０日・・・平成２２年度スキルアップセミナー　第１回講習会（副題「私の構造設計履歴書」）
㈱織本匠構造設計　九州支所　特別顧問　**浜田敬二氏を講師に招いて開催、**
参加者は８３名

・今後の活動予定

・８月２４日・・・鉄鋼連盟九州地区サブネットワークの設計式勉強会開催予定

コンクリート系部会----------事務局　渡部代読

・活動報告

・ **2010 年 6 月 18 日（金）**　　第 1 回：ＲＣ部会　勉強会
コンクリート系部会 講演会　「鉄筋コンクリート構造の常時荷重下の課題と長期性能設計」
場　所：都久志会館　601 室　　参加者：41 名

・ **2010 年 7 月 19 日（月：祭日）**　第 2 回：ＲＣ部会　勉強会
「鉄筋電炉工場見学会」
場　所：北九州市若松区　（株）トーカイ　　参加者：20 名

・今後の活動予定

・ **2010 年 9 月 2 日**　　第 3 回：ＲＣ部会　勉強会
「ザ・熊本タワー」　見学会
規　模：地上 35 階建・高さ約 123m の制震・超高層タワーマンション
場　所：熊本県熊本市春日１丁目 766 番 13 外　　参加者：35 名程度　の予定
【設計・監理】株式会社アール・アイ・エー
・株式会社市浦ハウジング＆プランニング設計共同企業体
【設計監修】　戸田建設株式会社一級建築士事務所
構造士ニュース(332)に掲載済み

・ **2010 年 9 月 16 日**　講習会「『2010 年改訂 機械式鉄筋定着工法 設計指針』
『機械式鉄筋定着工法 接合部配筋詳細設計の手引き』」
主催：日本建築総合試験所　　協賛：ＪＳＣＡ
場　所：福岡建設会館　　参加者：100 名

・近況報告、要望

・ **ＲＣ部会　勉強会について**
2010 年 6 月 18 日（金）の講習会時に「ＲＣ部会　勉強会」への参加者を募り、
「是非入りたい、テーマによっては入っても良い」という方、合わせて 21 名の回答を得た。
また、その際のアンケート結果を基に、今後のＲＣ部会　勉強会について、テーマを決め活動していきたい。

鉄骨系部会 ----------事務局渡部代読

・今後の活動予定

・ 露出型固定柱脚の製品説明会の開催予定
・ 高炉メーカーの新技術紹介の開催予定

特殊(PC)系部会 ----------内山部会長

・活動報告

・ 6 月 18 日・・・講演会「鉄筋コンクリート造の常時荷重下の課題と長期性能設計」を第一工業大学福島教授にお願いしてコンクリート系部会と共催で開催
・ 7 月 26 日・・・東長寺五重塔新築工事現場見学会を木質系部会と共催で開催

・今後の活動予定

・ コンクリート系部会と一緒にテーマを決めて、勉強会を開催していく。
・ ＰＣ規準（日本建築学会）改訂版が出版されしだい、勉強会を開催する。

木質系部会----------川崎部会長

・活動報告

・７月１０，１１日・・・佐賀への見学会

・今後の活動予定

・今後も月１回のペースで木造住宅の許容応力度設計の勉強会を行う。
・免震工法の技術者を育てるための勉強会を行う予定。

青年部会----------今林部会長

・活動報告

○　総括

若手研修会・基礎部会・RC 部会および事務局などへの参加でメンバーは各自積極的に活動しており、負担を強いらないように、青年部単独の活動は抑え目に行っている。

・　４月 10 日（土）：ファブ（共栄工業）、メッキ工場（ダイクレ）見学
・　５月 22 日（土）：鹿児島遠征（鹿児島メンバーと交流、見学会）

・今後の活動予定

○　対外交流

昨年に引き続き、鉄構工業会九州ブロック青年部との交流会（10, 11 月頃）を企画中

・　７月 29 日（木）：第 1 回打合せ（於、日本設計）

西日本圧接業協同組合青年部との交流会を企画中

・　６月１日（火）：圧接業協同組合森田事務局長と事前相談

なでしこ会----------浅田部会長

・活動報告

・５月　７日・・・支部総会書記・受付に協力頂く方の事前打合せ会合
・５月１４日・・・支部総会お手伝い
・４月１７日若手セミナー、７月１９日電炉工場見学などへの参加
・年度初めということもあり、なでしこ会独自の活動は行えなかったが、九州支部内各部署からの情報を展開し、個々に目標を定めて参加するという形をとっている。
・現材 21 名で活動中、多くの女性技術者と会える場を目的としてきたい

・今後の活動予定

・今後の予定として、１０月に支部長からのご紹介で、女性構造設計者の方との交流を予定している。

編集ホームページ委員会----------森田委員長

・活動報告

・定期的な会合を行って行きたい。
・５月１４日・・・支部総会お手伝い

・今後の活動予定

・機関誌「ＪＳＣＡ九州」は、メール版を主体とするが、ダイジェスト版（４ページ）をＨ２３年１月号に発刊する。
・メール版は最低４回発行したいと考えています。
・ＨＰは、充実させるための方策を関係者と協議したいと考えています。
・お手伝いのできる参加者を募集したい。

耐震改修促進委員会----------原委員長

・活動報告

■2010/06/11 第 1 回福岡地区運営委員会報告

・今年度活動テーマは「中高層建物の耐震診断と耐震改修」とする
・活動イメージ

中高層公共住宅を対象とし、まず現状の耐震改修状況を把握した上で、今後の関係部署への情報提供と業務実施に向け準備を行う。

6-8 月　　各地区に地区評価委員会での事例の有無等を調査依頼
　　外付け・制震・免震メーカーに依頼して全国の状況を調査依頼
9-11 月　　現況診断の完了しているサンプル建物について各工法で補強案を作成してその特徴を検討（補強設計プロセスを含めて）

・今後の活動予定

■予定　8/3（火）　第２回福岡地区運営委員会

・議事　「中高層建物の耐震診断と耐震改修」アンケート実施に向けた実務協議

・　H23 年２月頃に中高層建物アンケートまとめて講習会を行うため、各自治体に対して行動を行いたい。

4. 地区会報告と本年度事業計画

沖　縄　----------花城幹事

・活動報告

・月１回の定例会を実施

：JSCA 地区会活動参加の魅力を増す為に以下を決定

メーカー製品説明会を定例会に取り入れる。

適判事例に関し意見交換をする。

・高等学校での講話の定例開催について

：7 月 13 日：沖縄工業高校にて開催。生徒 74 人

・「沖縄県における耐震対策事業」のサンプル調査４棟診断完了

・今後の活動予定

・月１回の定例会を実施

：8 月 4 日の定例会は、構造プログラムメーカーによる説明会開催決定

：9 月 1 日の定例会は、現場無溶接継手工法、その他の説明会開催内定

・　7 月 28 日：耐震診断・補強講習会

（講師：JSCA 耐震診断・補強判定委員会　副委員長　藤村勝様）

併せて「沖縄県における耐震対策事業」のサンプル調査４棟診断の結果報告会を開催

・高等学校での講話の定例開催について

：12 月、2 月に県内他２校にて開催内定

鹿児島　----------木場幹事・中村事務局

・活動報告

６月	11 日	構造スリット研修・講師例会
７月	23 日・ 24 日	熊本研修・建築見学ツアー

・今後の活動予定

９月		例会、ゴルフ
１０月	29 日～31 日	「かごしま住まいと建築展」　出展
１２月		講師例会・忘年会
３月		役員改選

・近況報告、要望

・会員　６月以降１名増加予定した 24 名

・診断　公立学校の１６６棟が２２年度へ繰り越し、診断業務はピークを過ぎた。

小中学校の耐震化率は６１．２%、全国平均は６７%です。

・適判　15 件程度です。　（４月 13 件/５月 17 件/６月 27 件/7 月平月並見込みです）

・要望

① 鹿児島地区では、支部委員会にあわせて、常設委員会を設置しました。
連絡は、委員会へ直接してください。

② 来年の地区持回り役員会は、皆さんのご希望により指宿で行いたい。
日程を 7 月 22 日（金）とする。

③ 来年の地区持回り役員会の懇親会は、各県の会員が多数ご参加して頂きたい。

④ その他
構造設計事務所協会は、九州では福岡と鹿児島にあります。
鹿児島は JSCA 主導で立ち上げました。今年は、一般社団法人にしました。
全県、構造設計事務所協会を立ち上げて、FASA へ加盟してください。

⑤ JSCA 保険は、４社加入確認済み。

宮　崎 ----------川越幹事・大塚事務局

・活動報告

・7 月 27 日　　鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説の講習会をおこなう。
宮崎市民プラザ　　講師　宮田　茂氏　　参加者　24 名予定

・今後の活動予定

・8 月 27 日　　「プログラム性能評価基準の改定内容について」
「SEIN シリーズの紹介」
宮崎市民プラザ　　講師　ウチダデータ　中江　信男氏
参加者 20 名予定

・近況報告、要望

・会員が 1 名増えました。
・適判について、事前審査ができるようになりスムーズに動いています。
・4 月より適判業務が構造センターに変わりました。

熊　本 ----------澤村幹事・田中事務局

・活動報告

・7/2　--- 熊本地区総会 及び 許斐信三氏(日本設計)講演会「構造の工夫と建築」を開催した。

・今後の活動予定

・8～9 月にかけて、熊本駅前 35 階建制震マンションの現場見学会(RC 部会と合同)の開催
・年内に外付け耐震補強工法の現場見学会の開催

・近況報告、要望

・耐震診断について
・昨年が診断と改修が多く(県内申請:約 750 件)最も多忙な年であったが、今年は昨年より少なくなってきている。今年で診断はほぼ終わり、改修が多くなるだろうと思われる。
・適判について
・昨年は 240 件程度であった。今年は 4 月から現在(7 月)まで 75 件の申請があっている。月平均 20 件程度である。審査の方は、非常勤で 4～5 名で対応、審査期間は約 2 週間以内である。審査の遅れはない。
・会員について
・3 名増加して 24 名となる。

大　分 ----------高橋幹事・糸永副代表・河野事務局

・活動報告

・会員　3 月末に 1 名増加した 43 名
・構造設計一級建築士は 43 名（会員が全て持っているわけではない）
・7 月 6 日にデッキプレートのヒルティー鋲施工のミニ現場見学会（7 名）を行った
・8 月、9 月に若手構造技術者対象の講習会を予定。また、若手のネットワークを作り、今後の活動を支援していきた。
・適合性判定については、大分は建築士会の建築構造技術センターが常時 2 名体制で行っており、去年は 113 件、今年は 70 件の実績。審査の状況は、大体 1 週間から 10 日程度である。
・耐震判定については、大分は事務所協会が行っており、7 月から、実務者が 3 名加わって、学術経験者 3 名、実務者 11 名の合計 14 名体制になった。去年は 140 件、今年は 22 件の実績。

長　崎 ----------三根幹事

・活動報告

・会員　3 名増加して 25 名（準会員含む）
・5 月 18 日　構造製品説明会　　岡部(株)
・6 月 25 日、26 日　新伝統木構造講座　（6 回シリーズ）　講師　増田　一眞氏（増田構造設計事務所）
・7 月 23 日、24 日、8 月 27 日、28 日　新伝統木構造講座
・若手実務者研修、他勉強会の開催予定
・適合性判定については、4～6 月で 35 件、平均 10 件/月程度である。
・耐震判定については、去年は 736 件、4～6 月は 170 件で年間で 600 件程度。

佐　賀 ----------江口幹事

・活動報告

・　６月　４日・・・佐賀地区会総会（懇親会）

・今後の活動予定

・　９月２１日・・・構造設計勉強会（建築研究所　向井氏）

・　１１月　　・・・若手育成講習会（佐賀県版）

・近況報告、要望

・　適判については、20 年度実績 193 件（16 件/月）、21 年度実績 94 件（8 件/月）
22 年 4 月～6 月実績 31 件（10 件/月）

・耐震判定については、今年は 60～80 件程度、耐震委員会に JSCA 会員の 3 事務所が入っています。

北九州 ----------森永幹事

・活動報告

「昨年度」

・定期的活動：市民に対する住まいの安全耐震無料相談開催
・意匠設計者のための耐震診断講習会：全８回
・06/18：北九州地区会：総会
・06/26：北九州市建築行政連絡協議会
・11.27～11.29：トータルリビングショーに幹事団体．参加
・01.08：北九州六団体合同新年賀詞交歓会を主催者．開催
・02.16：北九州工コハウス設計勉強会：合同勉強会を継続
・02.26：講習会開催：施設設備・工作物の耐震検討と地震対策

「今年度」

・04/22：北九州六団体での第三回環境部会勉強会（06/01 第四回）
・05/01：北九州エコハウスプチ講座への参加（5/1～5/6）
・06/18：地区会総会・講習会（市指導部・ＥＲＩ）・懇親会
　１．「建築確認....運用改善マニュアル」の説明会
　２．適判に於ける審査質疑事例（Ｓ造）の紹介
　３．構造設計者から見た審査時の疑問点と回答
・07/13：北九州市建築行政連絡協議会

・今後の活動予定

定例事業は昨年と同じように、建築 6 団体と協力して行っていく。

・近況報告、要望

・耐震診断：学校施設は 60 校（約 300 棟）程度
順次．実施設計．監理を行っている
市の施設は 30 施設程度が予定されている

5. その他

(1). シニア研修について----------尾宮支部長

・テキストが本部から出る予定
・　対象は 40 歳以上の構造技術者
・　福岡では 2 回に分けて行う予定（目次；１～６編）
・　8 月中に聞きたい人のニーズを確認して開催内容・方法等を決める。

(2). 本年度地区会交付金について----------事務局山下

・前年度並みで人数増を考慮して決定しました。

(3). その他

・擁壁計算時の設計用地耐力算定式に付いての意見交換。（濱田顧問よりの意見）
・適合性判定の運用方法に対する意見交換（直列・並列について）